

(広報資料)

令和3年8月4日
地方独立行政法人京都市立病院機構
(担当 京都市立病院事務局 311-5311)
(担当 京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課
電話 746-2866)

地方独立行政法人京都市立病院機構の令和2年度決算概要について

京都市立病院（以下「市立病院」という。）及び京都市立京北病院（以下「京北病院」という。）は自治体病院として、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）を含む感染症医療、救急医療やへき地医療などの政策医療をはじめ、市民の生命と健康を守るため、医療の質及び患者サービスの向上に取り組んでいます。

第3期中期計画期間の2年目に当たる令和2年度は、市立病院における新型コロナ院内クラスターの発生をはじめ、新型コロナ流行の長期化に伴う受診控えの影響を大きく受けて医業収益が大幅に減少し、京北病院も、患者数の減少などにより医業・介護収益が減少しました。

一方、支出においては、診療体制確保のための給与費や施設設備の維持経費などの固定費負担が重く、法人全体の経常損益は、新型コロナ患者受入れに伴う国等の補助金8億21百万円を収入してもなお、13億91百万円の過去最大の赤字（前年度比▲8億78百万円）となり、赤字決算は3期連続となりました。この結果を受け、令和2年度に新設された特別減収対策企業債の発行による20億87百万円の長期借入等により、資金残高の不足に対応しました。

令和3年度においては、新型コロナの影響による患者の減少傾向は継続しているものの、経営改善に向け、新入院患者数の増加等の取組に法人の総力を挙げて取り組むとともに、府内で最も多くの入院患者（令和3年6月末現在 受入患者数387人）を受け入れてきた新型コロナ対応に、引き続きしっかりと対応してまいります。

1 市立病院

収入については、新型コロナ流行の長期化に伴う受診控えや昨年7月の院内クラスターの影響を大きく受け、入院患者数、外来患者数ともに大幅に減少し、売上に当たる医業収益は、過去最高を記録した令和元年度を大きく下回る161億89百万円となりました。また、運営費交付金については、市立病院の借入金返済の減少などにより14億62百万円と、前年度比で91百万円減少した一方、新型コロナ関連の補助金として、8億11百万円を収入しました。

支出においては、診療体制確保のための給与費や医療機器・総合情報システムの賃借・保守など施設設備の維持経費などの固定費の負担が重く、経常損益については13億15百万円の過去最大の赤字となり、前年度から8億64百万円悪化しました。

令和3年度においては、引き続き、医療の質や患者サービスの向上、更に高度かつ専門的な医療を提供するなど、中期計画の取組を着実に推し進めることに加えて、経営改善に向け、新型コロナの影響により十分に展開できていなかった集患対策（地域の医療機関や市民への働き掛け、広報活動など）を通じて、新入院患者数の増加に重点的に取り組んでまいります。

また、府内トップレベルの新型コロナ対応についても継続して取り組み、入院実績に基づき国等から交付される補助金等については、経営の安定化に資するよう適切に収入します。

2 京北病院

入院患者数、外来患者数の減少に加え、介護老人保健施設の利用者数も減少したことなどにより、医業・介護収益は前年度から45百万円減少し、6億40百万円となり、経常損益は前年度から14百万円悪化して、76百万円の赤字となりました。

令和3年度においては、役員体制の見直しにより京北病院専任担当理事を新設（病院長兼職）し、経営体制の強化を図っており、今後とも地域包括ケアシステムの拠点施設としての機能を発揮し、在宅医療の強化や入院患者の確保等の収益向上に取り組むとともに、各種支出の削減など効率的な運営に努め、赤字の圧縮を目指します。

令和2年度 京都市立病院機構決算

			増△減
収 益 的 収 入	196億 25百万円		(△ 10億 43百万円)
収 益 的 支 出	210億 16百万円		(△ 1億 66百万円)
当 年 度 経 常 損 益	△ 13億 91百万円		(△ 8億 78百万円)
当 年 度 純 損 益	△ 13億 96百万円		(△ 8億 79百万円)
(< 参考 > 元年度		△ 5億 17百万円)

(注) 市立病院及び市立京北病院により構成

第1 市立病院

1 業務量

区 分		令和元年度	令和2年度	増△減	
入 院	一 般	診 療 日 数	366 日	365 日	△ 1 日
		稼働病床数	536 床	536 床	0 床
		稼働病床利用率	84.2 %	73.0 %	△ 11.2 ポイント
		延べ患者数	165,093 人	142,863 人	△ 22,230 人
		1日平均患者数	451 人	391 人	△ 60 人
		実患者数	14,514 人	11,914 人	△ 2,600 人
		平均在院日数	10.4 日	11.0 日	0.6 日
	結 核	診 療 日 数	366 日	365 日	△ 1 日
		稼働病床数	12 床	12 床	0 床
		延べ患者数	3,253 人	※ 1,097 人	△ 2,156 人
外 来	診 療 日 数	241 日	243 日	2 日	
	延べ患者数	319,738 人	259,803 人	△ 59,935 人	
	1日平均患者数	1,327 人	1,069 人	△ 258 人	

※ 結核病床(12床)の患者数であり、結核患者以外を含む。

2 財務状況

項目		年度	令和元年度 (消費税抜額)	令和2年度 (消費税抜額)	増△減
			億 百万円	億 百万円	億 百万円
経 常	収	営業収益	195:54	185:68	△ 9:86
		医業収益	178:99	161:89	△ 17:10
		入院収益	115:91	104:61	△ 11:30
		外来収益	58:60	53:82	△ 4:78
		その他医業収益	4:48	3:47	△ 1:01
		運営費負担金収益	14:82	13:97	△ 85
		運営費交付金収益	23	21	△ 2
	入	補助金等収益	84	8:90	8:06
		資産見返補助金戻入等	53	59	6
		その他営業収益	13	11	△ 2
		営業外収益	1:98	1:78	△ 20
		運営費負担金収益	48	43	△ 5
		その他営業外収益	1:50	1:35	△ 15
		計	197:52	187:46	△ 10:06
損 益 出 支	支	営業費用	192:51	190:51	△ 2:00
		医業費用	187:59	185:14	△ 2:45
		給与費 (うち退職給付費用)	85:58 (3:93)	88:91 (4:45)	3:33 (52)
		材料費	53:01	49:53	△ 3:48
		経費その他	36:91	35:18	△ 1:73
		減価償却費	12:09	11:52	△ 57
		一般管理費	4:93	5:37	44
	出	給与費 (うち退職給付費用)	3:95 (7)	4:43 (27)	48 (20)
		経費その他	90	86	△ 4
		減価償却費	8	8	0
		営業外費用	9:52	10:10	58
		財務費用	93	89	△ 4
		その他	8:59	9:21	62
		計	202:03	200:62	△ 1:41
経常損益		△ 4:51	△ 13:15	△ 8:64	
臨時損益		△ 3	△ 5	△ 2	
当年度純損益		△ 4:55	△ 13:20	△ 8:65	
(参考)資金残高		1:31	4:82 (注2)	3:51	
資本的 収支	収入	5:95	25:95	20:00	
	支出	22:23	19:58	△ 2:65	
	差引	△ 16:28	6:38	22:66	

注1 各項目で単位未満四捨五入しているため、合計と内訳は必ずしも一致しない。

注2 金融機関からの短期借入金700百万円(法に基づく借換)措置後の残高。

3 借入金の状況

用途	年度 借入残高	令和2年度中増△減			令和2年度末 借入残高
		借入額	返済額	差引	
	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円
建設・医療 機器購入等	82:89	2:84	14:47	△ 11:63	71:26
特別減収対 策	0	20:87	0	20:87	20:87
短期借入金	4:50	104:50	102:00	7:00	7:00

第2 市立京北病院

1 業務量

区 分		令和元年度	令和2年度	増△減
入 院 一 般	診 療 日 数	366 日	365 日	△ 1 日
	稼 働 病 床 数	38 床	38 床	0 床
	稼働病床利用率	61.7 %	52.5 %	△ 9.2 ポイント
	延べ患者数	8,580 人	7,281 人	△ 1,299 人
	1日平均患者数	23 人	20 人	△ 3 人
入 所 介 護 老 人 保 健 施 設	稼 働 日 数	366 日	365 日	△ 1 日
	稼 働 居 室 数	29 室	29 室	0 室
	稼働居室利用率	88.5 %	80.9 %	△ 7.6 ポイント
	延べ入所者数	9,397 人	8,565 人	△ 832 人
	1日平均入所者数	26 人	23 人	△ 3 人
外 来	診 療 日 数	240 日	243 日	3 日
	延べ患者数	25,654 人	23,493 人	△ 2,161 人
	1日平均患者数	107 人	97 人	△ 10 人
診 療 所	診 療 日 数	240 日	243 日	3 日
	延べ患者数	691 人	648 人	△ 43 人
	1日平均患者数	3 人	3 人	0 人
訪 問 看 護	診 療 日 数	240 日	243 日	3 日
	延べ患者数	5,817 人	6,018 人	201 人
	1日平均患者数	24 人	25 人	1 人
通 所	実 施 日 数	240 日	243 日	3 日
	延べ利用者数	3,102 人	3,006 人	△ 96 人
	1日平均利用者数	13 人	12 人	△ 1 人

2 財務状況

項目		年度	令和元年度	令和2年度	増△減
			(消費税抜額)	(消費税抜額)	
			億 百万円	億 百万円	億 百万円
経常	収	営業収益	9.02	8.67	△.35
		医業収益	4.73	4.37	△.36
		入院収益	2.47	2.25	△.22
		外来収益	2.02	1.89	△.13
		診療所収益	4	3	△.1
		訪問看護事業収益	14	13	△.1
		その他医業収益	7	7	0
		介護保険事業収益	2.12	2.03	△.09
		施設サービス事業収益	1.34	1.23	△.11
	在宅サービス事業収益	.78	.80	.02	
	入	運営費負担金	1.96	1.97	.01
		運営費交付金	5	5	0
		補助金等収益	5	14	9
		資産見返補助金戻入等	11	11	0
		その他営業収益	0	0	0
		営業外収益	14	11	△.3
		運営費負担金	4	3	△.1
		その他営業外収益	10	8	△.2
		計	9.16	8.79	△.37
損益	支	営業費用	9.51	9.28	△.23
		医業費用	6.83	6.67	△.16
		給与費	4.56	4.53	△.03
		(うち退職給付費用)	(.21)	(.18)	(△.03)
		材料費	.50	.41	△.09
		経費その他	1.34	1.33	△.01
		減価償却費	.43	.40	△.03
		介護費用	2.69	2.60	△.09
		給与費	2.01	1.95	△.06
	(うち退職給付費用)	(.08)	(.07)	(△.01)	
	出	材料費	.5	.4	△.1
		経費その他	.50	.49	△.01
		減価償却費	.13	.13	0
		営業外費用	.27	.27	0
		財務費用	.6	.5	△.1
		その他	.21	.22	.01
		計	9.78	9.55	△.23
		経常損益	△.62	△.76	△.14
		臨時損益	0	0	0
当年度純損益	△.62	△.76	△.14		
(参考)資金残高	26	23	△.3		
資本的収支	収入	12	22	10	
	支出	71	83	12	
	差引	△.59	△.61	△.02	

注 各項目で単位未満四捨五入しているため、合計と内訳は必ずしも一致しない。

3 借入金の状況

年度 用途	令和元年度末 借入残高	令和2年度中増△減			令和2年度末 借入残高
		借入額	返済額	差引	
	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円	億 百万円
建設・医療 機器購入等	2.28 (7.59)	.8 (.80)	.59	△.51	1.77 (8.39)

(注) () 書きは、市立病院からの借入金で外数

地方独立行政法人京都市立病院機構の決算

- 自治体病院として、**救急医療やへき地医療等の政策医療の提供をはじめ、医療の質・患者サービスの向上を推進**

- ・ 市立病院におけるがん診療機能の向上など医療の高度化
- ・ 京北病院における地域包括ケア病床の運用や在宅医療への注力 など

＋ 令和2年度は、急増する新型コロナ入院患者にしっかりと対応

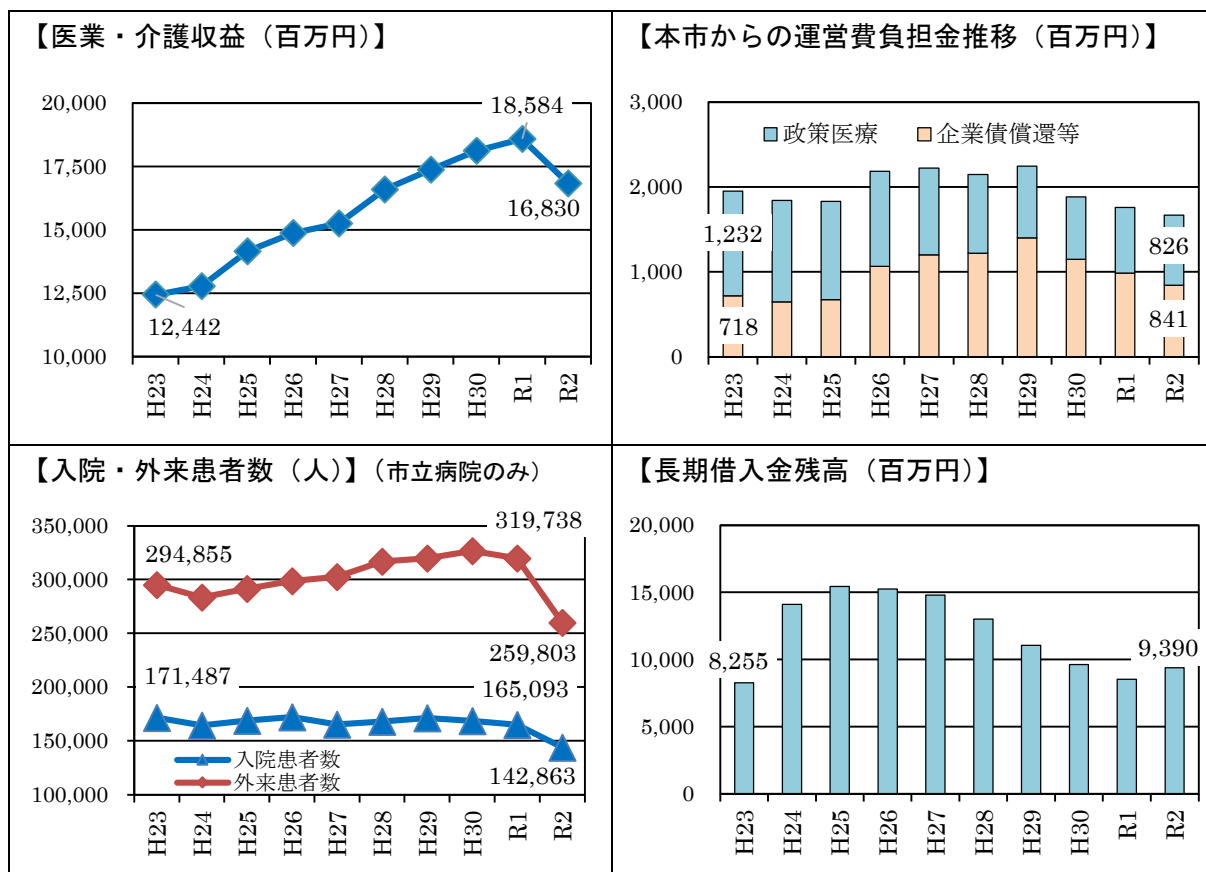
- ・ 府内トップレベルの入院患者の積極的な受入れ (R2.1~3.3実績: 297名)
- ・ 新型コロナ専用病床の確保 (20床)、院内PCR検査実施体制の確保 など

- 市立病院は新型コロナの影響で医業収益が17億円減、京北病院も医業・介護収益が45百万円減

- 診療体制確保に伴う人件費の増加や施設設備維持経費等の固定費の負担が重く、法人全体では過去最大の13億91百万円の経常赤字

➡ 令和3年度は、コロナ患者の受入対応を継続しつつ、経営改善に向け、新入院患者の増加等の取組を進める。

地方独立行政法人化以降の状況



(四捨五入のため、数字に若干の差異が生じる。)